

**令和2年度 日本大学経済学部 A0（アドミッション・オフィス）入学試験  
資格取得者を対象とした論文による選考 第一次選考 小論文A課題**

日本大学経済学部

以下の課題について、入学試験要項（本学部ホームページよりダウンロードしてください）に含まれる指定用紙を使い、1,350字以上1,500字以内で小論文を書きなさい。ただし、図表や参考文献リストなどは文字数には含みません。

**【課題】**

内閣府の調査によると、直近2016年の合計特殊出生率がフランスでは1.92、スウェーデンでは1.85、そして日本では1.44とその差が開いています。しかも長期的にみると日本の出生率は下がり続けており、少子化対策が様々に議論されているにも関わらず大きな変化がみられません。

それでは、今後日本の出生率を上昇させるためには、どのような政策が必要でしょうか。また政策に関連した意識改革を促すためには、どのような方策が考えられますか。様々な取り組み主体を想定して考えてください。論述のヒントとして、以下に示す参考文献、さらに少子化対策に関連した新聞・雑誌などの記事をあわせて読むことを薦めます。

**【参考資料】**

- ・内閣府「平成30年版 少子化社会対策白書 概要版」

(<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2018/30pdfgaiyoh/3Ogaiyoh.html> : 閲覧日 2019年5月2日)

- ・三瓶恵子『女も男も生きやすい国、スウェーデン』岩波ジュニア新書、2017年
- ・高崎順子『フランスはどう少子化を克服したか』新潮新書、2016年
- ・村上芽『少子化する世界』日経プレミアシリーズ、2019年

- ・インターネットや書籍などを用いた場合は、URLや文献情報（著者名、書名、発行所、発行年、ページ数）を明記し、利用したデータの出所も明らかにしてください。
- ・URL・文献・データの情報は、別紙（A4版5枚以内）にまとめて添付してください。

<利用した文献などの記載例>

インターネットの場合：

日本大学経済学部 (<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/index.php> : 閲覧日 2017年4月8日)

書籍の場合：日大ケイ子『詳説 日大経済』三崎町出版、2015年、5-10ページ

新聞の場合：『日大経済新聞』朝刊、2016年10月30日3面

データの場合：総務省「労働力調査」、2016年